

## 人権講話

12月8日（木）14時50分～16時20分、一般社団法人アジア支援機構代表理事の池間哲郎氏を講師に迎え、人権講話を開催しました。池間氏は、映像撮影会社を経営する傍ら、アジアの貧しい子どもたちへの支援活動をされています。



泥水を飲んで生活している子ども、クラスター不発弾や地雷による被害、大量虐殺、栄養失調、売られる少女たち…スライドを使って、彼らを支援する活動と多くのエピソードが紹介されました。

極限状況でも家族をととても大切に子どもたちの話をされ、将来親となるであろう生徒たちに、愛情には厳しさが伴うもの、過保護は子どもを駄目にするのと力説されました。

そして、たいへん貧しい国でも人々が希望を失わないのは、戦後の廃墟から復興・発展を成し遂げた日本のことを知っているからであり、だから教育（学校）をととても大切にしているとのことでした。

人間にとって本当に大切なことは何か。それを考えるたいへんよい機会になったのではないのでしょうか。

### 【生徒の感想より】

・自分の悩みなんて、1日を必死で生きている人たちに比べてものすごくちっぽけなものだと思いました。

（1年女子）

・私は勉強することが嫌いでした。でも今日のお話を聞いて自分はすごく身勝手だと思いました。

（1年女子）

- ・今日の講演を聴いて、これからの人生を一生懸命に生きようと思いました。  
(1年男子)
- ・すごく苦しんで我慢しているのに写真ではすごく笑っていて、心が強いなと思いました。生きていだけで精一杯の人もいるのに、わがままを言うてはいけないなと思いました。  
(1年女子)
- ・1日1日を適当に、ただやらなければいけないことをやっているだけの生き方を恥ずかしく思った。もっと夢を持って頑張っていると言える生活をしたい。  
(1年男子)
- ・食べたいものを食べて暮らしているのは全然当たり前じゃないんだとわかりました。今日は、父母にしっかりといつもありがとうって伝える日にしたいと思います。本当にすてきな講演で、世界にはいろいろな国、人があるんだと学びました。  
(2年女子)
- ・今回の講演で、海外の貧しい地域にも興味がわいてきました。と同時にNPOのような活動のためには、とても強い意思も必要不可欠であることもよく理解できました。  
(2年男子)
- ・今回の講演は、とても実感がこもっていて心に響いた。…(中略)…少しでもいいから何かできることをやってみようと思うようになった。  
(2年男子)
- ・途中何度も泣きそうになりました。家に帰るとスマホばかりいじって生活している自分が恥ずかしく思えました。  
(2年女子)
- ・先生や親に尊敬の心を持って感謝しようと思いました。自分一人でここまで生きてきたんじゃないということを自覚して生活していきたいです。  
(2年男子)
- ・今回の講話で、日本人がどれだけ幸せか実感しました。ミャンマー、カンボジアなどの日本に近い国で、あんなに貧しく暮らしているとは思っていませんでした。今生きていの中で、一つ一つのこと感謝できる人間になりたいです。大人になって国際ボランティアなどに参加できたらいいなと思います。  
(2年男子)